

2030年の経済構造を展望した改革について

平成28年 9 月30日

伊藤 元重

榊原 定征

高橋 進

新浪 剛史

「2030年の経済構造を展望した改革」の議論の進め方

- 2030年にかけて、第4次産業革命・Society5.0の進化の一方で、団塊世代の80歳超えやインフラの老朽化、グローバルには近隣アジアの経済発展や地球温暖化問題への対応等の大きな変化にも直面
- これらの構造変化を展望しつつ、そこからバックキャストして、足元から今後にかけて取り組むべき政策課題の全体像とその対応方針を描き、現在政府を挙げて取り組んでいる構造改革に横串を刺し、デフレ脱却・経済再生に向けた取組みを加速させる必要

「2030年展望と改革タスクフォース」において、以下のよう
な点を中心に議論し、本年12月に諮問会議に報告、中心
メッセージを諮問会議として決定していただく。

- 潜在成長率引上げに向け、わが国が有するストック(人的資本、社会関係資本、知識資本、公共インフラ資本、地域資源等)の質・量の確保、活用方策(転職、交流、リノベーションなど)
- 優先分野への政策と財政政策と構造改革の組み合わせ
- イノベーションの起きやすい環境整備、高齢者から若年世代への資源配分、大都市から地方への人の流れの加速、マクロバランスの姿など

「2030年展望と改革タスクフォース」メンバー

諮問会議4民間議員
(伊藤元重議員・高橋進議員共同座長)

新井紀子	国立情報学研究所教授
河合江理子	京都大学大学院総合生存学館教授
駒村康平	慶應大学経済学部教授
齊藤元章	株式会社 PEZY Computing 代表取締役社長
柴田明夫	資源・食糧問題研究所代表
牧野光朗	長野県飯田市長
柳川範之	東京大学大学院経済学研究科・ 経済学部教授

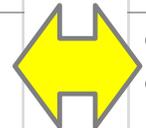
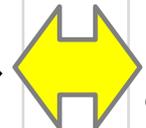
潜在成長力引上げの優先分野例

- 生産性向上、第4次産業革命/Society5.0の実装
- QOL・健康経営
- 資産の有効活用

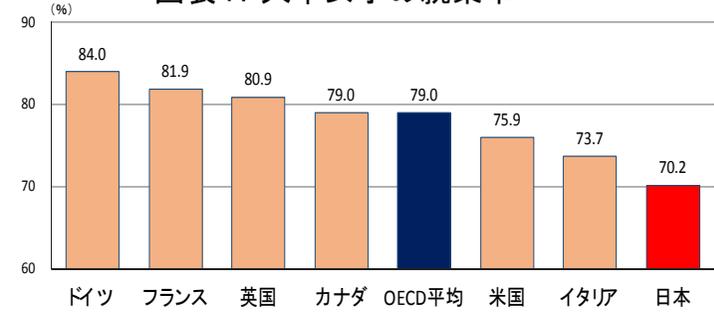
- 課題例
- 働きたい大卒女性、大企業人材、外国人材が未活用
 - AIやIOT等の実装に向けた検討は、未だ限定的、スパコンの利活用が進んでない
 - 医療・介護費の増加、健診受診率が低い
 - 国民金融資産が預貯金に集中
 - インフラ老朽化、空き家の増加

- 構造改革(第3の矢)
- 働き方改革、外国人材のSkilled Labor化・グリーンカード活用
 - ベンチャー支援、産学連携促進、オープンデータ化、スパコンの産業・研究への利活用促進
 - 民間サービスとの連携、全員健診・データヘルスによる予防強化
 - リスク資産投資へのインセンティブ強化
 - 老朽インフラのスマートインフラ化、公共交通の在り方の見直し

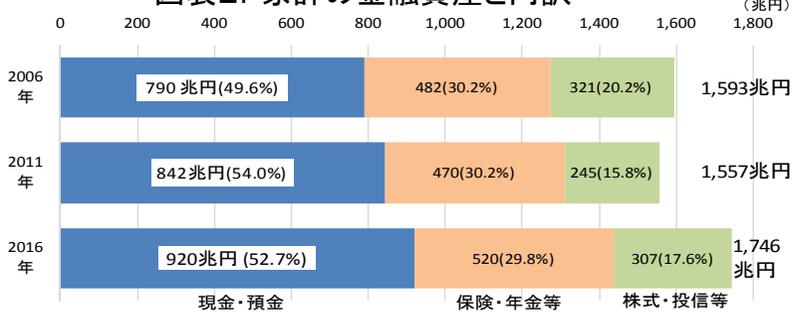
- 予算・税(第2の矢)
- 106万円の壁を乗り越える財政支援、中小企業への再就職支援補助、外国人材の技能強化
 - 官民研究開発投資促進、大学・民間企業へのスパコン導入促進
 - 歳出改革を通じた効率化
 - 個人・企業にインセンティブ付与
 - 税制を通じたリスク投資優遇等
 - スマート化・維持管理費の拡充、子育て世帯に対し自治体から空き家を提供



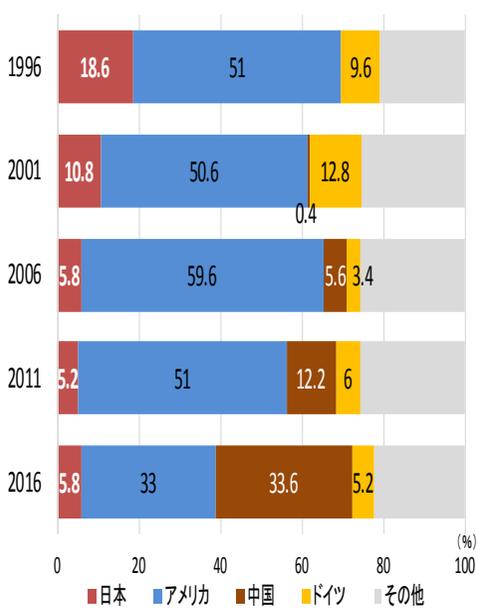
図表1. 大卒女子の就業率



図表2. 家計の金融資産と内訳



図表3. スパコン性能のTOP 500 国別シェア



図表4. 建設後50年を経過する社会資本の割合

	2013年	2023年	2033年
橋長2m以上の道路橋	約18%	約43%	約67%
トンネル	約20%	約34%	約50%
河川管理施設(水門等)	約25%	約43%	約64%
水深4.5m以上で深の港湾岸壁	約8%	約32%	約58%

(備考) 国土交通省「国土交通白書2014」より抜粋

図表5. 水道のスマート化による節約効果

改善する事項	経費節約効果
【分野横断的事項】常時モニターと管理により、即時状況把握と反応の向上	操業・維持費用 ▲15%
【配水】操業と維持のネットワーク化により、漏水点の早期特定、水圧管理の向上	漏水 ▲5% 水道管破裂 ▲10%
【浄水】浄水場のモニタリング・生産計画・管理により、先行保全や生産コスト削減	操業率向上 ▲5% 断水 ▲10%

(備考) Accenture HP掲載 "Facing the future" より作成。水道事業で、センサリング、ビッグデータ化、データ分析等を活用して業務改革を行った場合の効果。

(出所) 日銀「資金循環統計」。いずれも6月の数値。株式・投信等には、債券証券、その他を含む

(備考) TOP500のHPより作成。各年6月発表分。